

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
芸術	芸術演習	3	2	なし	楽譜やプリントを使用

1 科目の目標と評価の観点

目標	様々な諸活動を通して、主体的に芸術に触れ、総合芸術について考え、生涯教育としての豊かな感性を育む。				
評価の 観点	知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度
	創意工夫を生かした表現をするために必要な技能を身につけ、自己表現する。		芸術を広く捉え、歴史や背景を学び、良さや美しさを味わい、芸術とは何か、人々に果たしている役割は何かについて考える。		主体的・協同的に幅広い活動に取り組み、生涯に渡り芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につける。

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
実技演習	1 学期 (2 8)	個人または譜ループでテーマを決めて企画し、実技演習を行う。	創意工夫を生かした表現を可能にするために必要な技術を身につける。また、その表現活動が何らかのメッセージ性を伴って他者へ伝わるものとなることを目指す。	文化的・歴史的背景などとの関りや多様性について理解を深め、自己のイメージをもって表現を創意工夫したり、良さや美しさを味わって聴くことができ、それらについて互いに評価しあえるようになる。	主体的・協同的に幅広い活動に取り組み、生涯に渡り芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につける。
実技テスト	2				
理論・鑑賞・探求・考察 (レポート作成等)	2 学期 (3 8)	鑑賞を通して、音楽の仕組みや歴史・美術書道などとの関りを知り、芸術を総合的に捉え、その味わいを学ぶ。	様々な観点で芸術作品を鑑賞する中で、それらを鑑賞する際に必要な知識や理論を学ぶ。音楽・美術・書・演劇その他多くの芸術について広く理解を深め、世界各国の文化や歴史と関連させて考察を深める。	文化的・歴史的背景などとの関りや多様性について理解を深め、芸術とは何か、人々に果たしている役割とは何か、これからどうあるべきか、その可能性とは何か、等について考える。	主体的・協同的に幅広い活動に取り組み、生涯に渡り芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につける。
理論・鑑賞・探求・考察 (レポート作成等)		鑑賞を通して、音楽の仕組みや歴史・美術書道などとの関りを知り、芸術を総合的に捉え、その味わいを学ぶ。	様々な観点で芸術作品を鑑賞する中で、それらを鑑賞する際に必要な知識や理論を学ぶ。音楽・美術・書・演劇その他多くの芸術について広く理解を深め、世界各国の文化や歴史と関連させて考察を深める。	文化的・歴史的背景などとの関りや多様性について理解を深め、芸術とは何か、人々に果たしている役割とは何か、これからどうあるべきか、その可能性とは何か、等について考える。	主体的・協同的に幅広い活動に取り組み、生涯に渡り芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、芸術文化に親しみ、生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を身につける。
実技テスト	2				
	3 学期	大学入試準備			